

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットワーク通信

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

向日葵はわが街のシンボル



2024(令和6)年1月15日/第77号

私ども防犯防災部は風早北部地域住民目線で柏市防災行政のチェック役に徹します。
市長への提言を通じ柏市防災の改革・改善を目指します。

風早北部地域ふるさと協議会

配付資料_05

大震災後の脅威と恐怖 地面液状化の影響を考え備えましょう ～1/1の石川県能登地方大地震に学ぶ～

令和6年元日に発生した能登半島を震源とする大地震では、地面の液状化により被災地の市民生活に大きな影響を及ぼしています。具体的には、

■ 住まいなどの建物が傾いたり損壊・倒壊し「在宅避難生活ができなく(外部避難が余儀なく)」なる

在宅避難が困難となった際の分散避難を基本に、日頃から自宅以外に避難できる場所の確保を各家庭で申し合わせしましょう。具体的な避難の候補先は以下の通りです。

- ① 被災していないご親族宅や知人宅
- ② 自家用車での避難(小型テントとの併用をおすすめします)
- ③ 市が指定した避難場所である最寄りの学校校庭や体育館等
- ④ ホテルや宿泊所(当然有料となるのでお金※の用意が必要です。※震災で電子マネーやクレジットカードが使えないことも想定しておきましょう。)
- ⑤ その他、民間施設や地域団体所有の集会施設など

数年前から私どもふるさと協議会が柏市にその推進を要望しています。



■ 電柱が倒れ長時間にわたって「停電」になる

停電により遮断される「暖」や「灯り」の確保を即座に行えるような機材・物資を必要数用意しましょう。具体的には…

- ① 懐中電灯や充電式LED電灯の配備・必要なサイズの乾電池の用意
- ② 食で暖を取るためのガスコンロとガスボンベの備蓄
- ③ 情報源であるテレビが視られないことの代替手段としてラジオやインターネットでの情報活用。その電源となる充電器の用意も忘れずに。



④ 毛布・布団や衣類で暖をとることを考えましょう

■ 地下水(井戸水)が濁り「飲料水に適さなく」なる

熊本地震では断層地震による影響で、地下水脈が変わり、井戸枯れ、液状化に伴う飲料水に適さない濁り水化が広く起こりました。生活を地下水だけに頼るのはリスクを伴いますので、飲料水の備蓄をお願いします。柏市の場合、災害時に給水車が一般市民向けに出動しない(災害時救急医療病院への出動を優先)可能性が高いので、最寄りの応急給水場所◎について事前に家族全員で把握しておきましょう。



◎風早北部地域やその周辺では、大津ヶ丘中学校、岩井水源池、手賀の杜1丁目ひだまりの公園、二松学舎大学柏キャンパス、ニッカウ丼スキー柏工場、風早北部小学校(北部小は生活用水のみ)

■ 道路陥没により「車両通行を妨げる(緊急車両の通行や物資輸送に支障をきたす)」

道路の陥没や地割れで救急車両通行に支障が生じ、医療機関への搬送に時間を要し人命に大きな影響が出ます。更に陸路での支援物資運搬が閉ざされることで被災地の物資不足は市民生活の困窮に直結します。



災害時に大きな怪我をしない、医療機関に向かえないことを想定し、処方医薬品の確保、常時から水や食料などの備蓄品保管を確実にを行い、他を当てにしなくても生き残れる手段を考えておきましょう。

災害時に公的機関からの支援のみを当てにしていると、必ず自分や家族の生死に直結してしまうものと考えましょう。

■ 水道管・ガス管や排水管が損壊し「ガス機器使用不可・断水やトイレの使用制限が発生」する

食料の備蓄は勿論ですが、トイレの汚物が半月から1月は流せなくなるので、排せつ物の処理手段の確保が大切です。自宅の便器に備えつけられる簡易トイレキット(便袋、消毒剤、凝固剤のセット)を、少なくとも家族の人数×2週間～ひと月分は用意してください。←各家庭で必須です。



段ボール箱とビニールゴミ袋、消毒(漂白)剤などを使った簡易トイレの作り方を学びませんか？

女性防災サークル「風北(かざきた)ジョイナス」がお教えしますよ。

是非下記までメールでご連絡ください。講習会実施を調整します。

本年度末(3月上旬から中旬)に沼南近隣センターで計画中の防災展示会(別途チラシや広報誌を通じて)でもご案内予定です。

joy7s@kazakita.org

